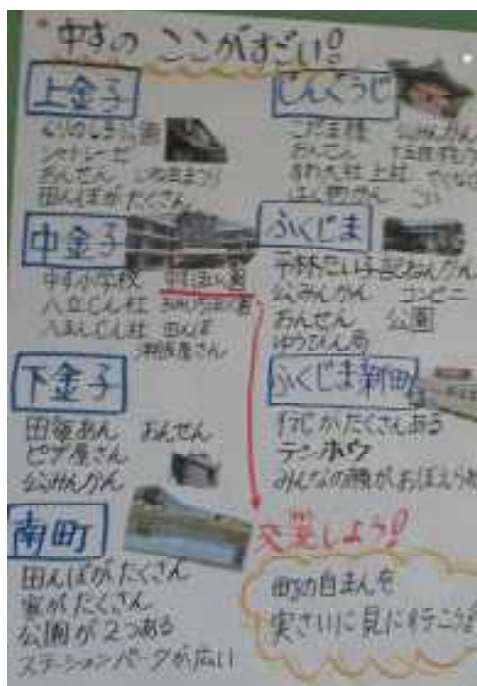


たくましく心温かな中洲の子



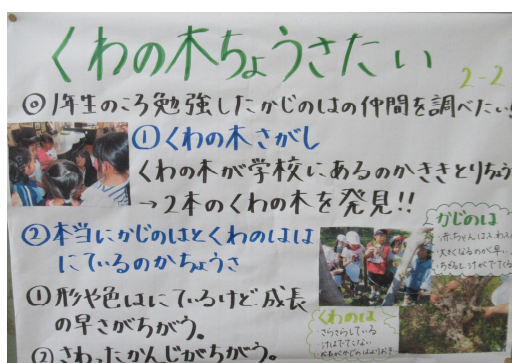
- ◆ 令和元年6月14日（金）
- ◆ 諏訪市立中洲小学校

「すわっこ学習」に各クラスで取り組んでいます



ふるさと諏訪や中洲の人・物・ことと関わって学ぶ「すわっこ学習」に各クラスで取り組んでいます。郷土のよさや課題に思いを寄せながら、地域の一員として生きる喜びを感じ、将来に向けてのふるさとのあるべき姿についても考える時間になっていけばと思います。

子ども達の「どうして?」「もっと知りたい!」という思いを生かしながら取り組むことを大事にしています。いろいろな教科にもつなげながら、担任も子どもとともに



学びを創っていきたいと思います。1階、2階ロビーに各学級の取組の様子を掲示しますのでご来校の際にご覧ください。

♪ 音楽鑑賞教室がありました ♪ ♪ ♪

6月12日（水）は音楽鑑賞教室でした。今年は「日本ウィンドアンサンブル（桃太郎バンド）」の皆さんによる吹奏楽の演奏でした。「真の吹奏楽」の魅力音を音で表し、より音楽を楽しめる演奏活動を目標に活動している誕生して間もないバンドだそうです。中洲小の子ども達は音や進行役の指揮者のお話への反応がとてもよく、演奏団体の皆さんも驚くほどでした。諏訪市出身の今井光也作曲「東京オリンピック・ファンファーレ」の演奏や手拍子を入れる曲、また楽器紹介や校歌を演奏していただき一緒に歌う場面などもあり、あっという間の1時間でした。このように子どもの時に本物に触れる機会というのはとても大事なことです。演奏も楽しかったのですが、私は中洲小の子ども達の反応を見るのが大変楽しかったです。（最後はアンコールに応じてU.S.A.の演奏だったのですが、たくさんの児童が前に出て踊りに参加し大変な熱気^^;）“音を楽しむ”ことができたとてもよい音楽鑑賞教室でした。…そして、こういう時準備や片付けも気持ちよくやってくれる、中洲小の高学年です。



◆◇◆◇◆◇◆◇ お 願 い ◆◇◆◇◆◇◆◇

○駐車場内での事故について

既に新聞等でご覧になった保護者の方もいらっしゃると思いますが、6月8日（土）の早朝、茅野市運動公園市営球場駐車場内で、中体連に出場する生徒に同じ学校の保護者が衝突して怪我を負わせてしまうという事案がありました。命には別状なかったものの、骨盤を折るなど重傷だということです。以前は学校の引率のもと大会に参加することが多かったわけですが、今は現地集合がほとんどで、保護者の皆様にお世話になっています。この週末本校でも陸上の大会、合唱の講習会への参加がありますし、この先もお子さんの大会や習い事等の送り迎え（応援）で駐車場への出入りの機会は多くあるかと思います。このような悲しい事故が起こらないよう、学校でも事前に十分に配慮致しますが、保護者の皆様も車のすぐ近くに児童がいる場合があることを配慮していただくようお願い致します。

また、明日はリサイクルです。児童も一緒に活動しますので、くれぐれもお気をつけください。

●交通事故について

また、市内でも帰宅後に児童が車と接触する事故があったそうです。登下校時はもちろんですが、帰宅後の交通安全につきましても各ご家庭で声かけ等ご指導よろしくお願い致します。

本年度のプール使用について

一昨日のPTA総務会で、夏休みのプール開放について昨年度との変更点をお知らせしました。昨年度は猛暑のため、開放した7日中6日午後の開放を中止しました。そこで今年度は午後の開放を取りやめ、6日間午前のみ2回の開放としたいと思います。全校を3つのグループに分け、1日2グループに開放するようにします。詳しくは、後日配布の「地区懇談会資料」をご覧ください。

また、授業でのプール使用に関しましては、夏休み前までで学習を終了とします。排水口のない特殊なプール構造と老朽化による藻の発生、維持費や管理体制を考えてのことです。なお、このに伴いプール参観は7月16日～19日となります。詳しい時間等につきましては、各学年からのおたよりでご連絡させていただきます。ご理解ご協力をお願い致します。

本日プール開き



* * 今週 来週は 本と仲良し旬間です！ * *

- ・交流読書
- ・お話タイム
- ・読書会
- ・給食メニューとのコラボもあります。
- ・ご家庭でもぜひ読書をご一緒に！

6月16日は



小さい頃、従兄弟が大きくなったからと親戚からもらった世界や日本の名作全集が本棚にあり、それをよく読んでいたのを思い出します。愛読書は「人魚姫」。最後がかわいそうで読むでは泣いていました。他にも、「小公子」「小公女」…懐かしく思い出します。今の子ども達はたくさん本に触れていますが、日本や世界の名作・昔話などをあまり知らないのでは、と思います。ぜひ小学生のうちに、ずっと読み継がれてきた名作をたくさん読んでほしいなあと思います。